

世界人権宣言と
 私たちの暮らし

世界中の全ての人が持つ「人間としての権利」を定めた「世界人権宣言」が国連総会で採択されてから、ことしで75年目となります。「世界人権宣言」は、持続的な開発目標（SDGs）の基礎の一つであり、現代の私たちとも深い関係があります。

20世紀に起きた2つの世界大戦では、多くの人命が奪われ、人権が踏みにじられる出来事が多く発生しました。このような経験から、人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になりました。その流れの中で、1948（昭和23）年12月10日、第3回国連総会で世界人権宣言が採択されたのです。

世界人権宣言には、「全ての人間は生まれながらにして自由」であり、「同じ権利を平等に持っている」という基本的な人権尊重の原則が定められており、世界各国の憲法や法律にも取り入れられています。

権利が法律という形で示されることで、社会の共通の基準となる

とともに、侵害されたときにはその回復や保障を求めることができようになるようになったのです。世界人権宣言は、私たちの暮らしの礎とも言えます。

国連は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定めています。日本では12月4日〜10日を「人権週間」として、人権について考える取り組みが全国で行われています。

この機会に、世界人権宣言と私たちの暮らしのつながりを感じ、人権尊重の大切さについて、改めて考えてみませんか。



世界人権宣言起草に尽力したエレノア・ルーズベルト (出典:UN Photo)

問い合わせ 入権同和・男女共同参画課
 ☎823-9449

撮りだち
 トピックス
 photo
 News

まちの出来事を写真でお届け



10月1日(日)
 高知大道芸フェス

中心商店街の8会場で2日間にわたって大道芸人によるパフォーマンスが繰り広げられ、街は多くの歓声と笑顔に包まれました。



10月12日(木)
 地元応援募金をいただきました

明治安田生命保険相互会社（高知支社高知南営業所）から、子育て支援事業へ寄付をいただきました。市立保育所の遊具購入等に活用します。



10月13日(金)
 森林の再生をめざした環境保全活動を実施

協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結しているオンワードホールディングスの社員の皆さんと、土佐山で間伐活動を行いました。



10月14日(土)
 よさこいリターンズ

12月まで月1回、はりまや橋商店街で行われる「よさこいリターンズ」。個性豊かな4チームが2回ずつ演舞を披露しました。



10月18日(水)
 特捜戦隊デカレンジャー記念作品の制作を発表

スーパー戦隊シリーズ『特捜戦隊デカレンジャー』放送20年記念作の制作が決定。高知ロケにかかる費用等を募るクラウドファンディングを発表しました。



10月28日(土)
 桂浜海の日ハロウィン

ライトアップやミニマルシェなどハロウィン一色に染まった桂浜公園で、さまざまな願いを込めたスカイランタンが夜空に浮かびました。

2023
 10.1
 [日]
 10.31
 [火]

詳しくは
 Facebookで▶



歴史万華鏡
 — unravel the history of Kochi —
 (133回)

高知師範学校と
 小砂丘忠義

高知市立城西中学校と第四小学校の間にある大膳町公園には、かつて教員養成のための高知師範学校があった。その歴史は、明治七年に旧致道館を校舎として設立した陶治学舎に始まり、幾度かの名称変更を経て明治三十二年にこの地に移り、昭和二十年七月四日の高知大空襲で校舎の大半が焼失した。公園の入口に今も高知師範学校の門が残っている。半壊したまま半世紀が過ぎたが、平成十三年、卒業生有志の働きかけで修復され、在りし日の姿を伝える文化的遺産となっている。

この門を、「生活綴方の父」小砂丘忠義が初めてくぐったのは、大正二年二月、入学試験のためだった。元々受かりたいとも思っていない十五歳の小砂丘（本名笹岡）は、試験の答案を「平気の平左でやつのけ、さっさと外に出てクルミの木の下で日なたぼっこをするような少年だったが、当人の予想に反して合格し、四年間をこの大膳町の学舎で過ごした。

大正初期の師範教育は小砂丘にとつて「官僚気分の抜けきらぬ」もので、自身の自由な精神とは相いれぬ面もあったが、同級生に倣って始めた中央雑誌への詩文投稿、ルソーやニーチェ、



小砂丘忠義
 (1897(明治30)年～1937(昭和12)年)

ドストエフスキー作品の耽読、生涯の友との出会いなど、ここでの四年間は、小砂丘の土台を作ったものの一つであることは間違いない。

卒業後、母校の杉尋常小学校（現在の大豊町）を皮切りに、県内の小学校で生活綴方教育を実践。小砂丘がめざしたのは、単に文章を書く技術としての綴方ではなく、子どもたちの生活と自由意志に基づく綴方であり、それによってなされる「自己」という個の発見であった。

大正十四年の上京後は「鑑賞文選（後の綴方読本）や『綴方生活』等の編集発行に携わり、全国の良心的な小学校教師の熱狂的支持を集め、生活綴方の指導と普及に努めた。

高知県立文学館では、直筆原稿や日記、死の直前まで発行を続けた『綴方生活』等貴重資料を多数所蔵する小砂丘文庫を設置しており、小砂丘忠義研究、綴方教育運動研究者に活用されている。

県立文学館
 学芸員 岡本 美和

Work Of Kochi City
 市役所の推しゴト!

くらし・交通安全課
 (消費生活センター) 編

- こんな仕事をしている課です
- 買い物や契約などのトラブルに関する相談
- 消費生活に役立つ講座の実施や啓発資料の提供



■消費生活についての「あなたに届け隊 出前講座」をお届けします

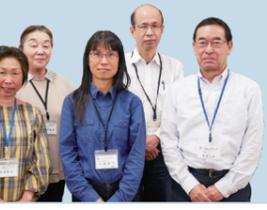
知っていると思われがちな消費者トラブルがあります。トラブルに遭っても、対処方法が分かれば被害は最小にできます。子ども向けのおこづかい講座、成人対象の消費者トラブル防止講座のほか、さまざまな消費生活の講座をお届けします。開催希望日の21日前までに、広聴広報課へお申し込みください。



▲市内の小学校で開催された「おこづかい講座」



相談窓口についてはこちら



▲消費生活センターの皆さん

【問い合わせ】くらし・交通安全課 消費生活センター ☎823-9433